

日野
多摩
稲城

地区 保護司会だより

第75号

稲城市の賽の神事業（子ども会活動）



支部長就任のご挨拶 — 猛暑の夏 —

東京保護観察所立川支部長 吉原直深



今年の夏は本当に暑く、体にこたえる日が続きました。ここ数年ほど、家族が北海道に住んでいたため、夏は涼みに行くことが多かったのです

が、今年の北海道は40度近くになる街もあり、もはや避暑地とはいえない状況のようです。1年を通して、暑いか寒いかといった極端な気象傾向となり、日本の素晴らしい四季を感じづらくなっている点は残念です。

そうした猛暑の中ですが、今年も“社会を明るくする運動”の広報活動を各地で展開していただきました。

私も、日野市と稲城市の駅頭広報活動に参加しました。両市とも、更生保護団体のみならず、

地域の多くの方々に支えられて活動が展開されていることを改めて実感しました。特に、学生さんが一生懸命グッズを配ってくださる姿には、明るい未来を感じる清々しさがありました。

多摩市では再犯防止講演会が企画され、私も講演の一部を担当しました。更生保護制度や再犯防止の重要性について、市民の皆さまにご理解いただくいい機会になったと思っております。そして、保護司さんの出前授業は、わかりやすく楽しく、本当に素晴らしかったです。中学校以外の地域の中にも、是非広く展開していただきたいと感じました。

来年も猛暑の夏になるかもしれません。皆さまとともに、広報活動の在り方をしっかり考えていきたいと思っております。

令和7年度 第27回定期総会開催

▶ 期 日 4月17日(木) ▶ 場 所 稲城市中央文化センター ホール

令和7年度の定期総会は昨年と同様、稲城市で開催いたしました。司会の大須賀良子副会長より総会成立の報告、物故者への全員黙祷の後、川井博之副会長の開会の言葉、土方三男会長の挨拶、来賓の紹介と続き、議長に篠崎誠一氏が選任され議事に入りました。議案6件と報告事項2件すべて異議なく承認・可決されました。その後、東京保護観察所立川支部長代理の中原謙次統括保護観察官、日野市長代理の小松利夫総務部長、阿部裕行多摩市長、高橋勝浩稲城市長、多摩地区保護司会連絡協議会の前田善一郎会長より祝辞を頂きました。また、日野警察署・多摩中央警察署の職員2名と、日野・多摩・稲城の三市担当職員12名の紹介が行われました。

続いて5月14日付で定年退任される多摩分区の土谷縷美保護司の紹介があり、花束・記念品の贈呈を行い、その後にご本人から挨拶が述べられました。24年間の在職中は「心からでた言葉は、心に達する」という言葉を大切に保護司活動に従事してきたとのお話は、心に深く響きました。

最後に松浦昇副会長からの閉会の言葉で終了しました。その後、恒例により来賓を囲んだ集合写真撮影し散会しました。



ご来賓

(敬称略)

東京保護観察所 立川支部 支部長代理 統括保護観察官	中原 謙次
東京保護観察所 立川支部 主任保護観察官	尾崎 文子
東京保護観察所 立川支部 保護観察官	竹田 花菜
日野市長代理 日野市役所 総務部長	小松 利夫
多摩市長	阿部 裕行
稲城市長	高橋 勝浩
日野警察署 生活安全課 少年係長	白井 幸子
多摩中央警察署 生活安全課 少年1係長	五十嵐朝紀
多摩地区保護司会連絡協議会会長	前田善一郎
日野・多摩・稲城地区更生保護女性会 会長	関戸 良
日野・多摩・稲城地区桐友会 会長	佐伯 進

令和7年度 役員(理事)・専門部・分区構成

○役員(理事:23人)

令和7年4月1日現在

日野分区(8人)	土方 三男	水野 京子	谷 和彦	坂井 厚彦	廣澤 伸幸	出沼恵美子	伊野 直美	中村マコト
多摩分区(9人)	川井 博之	持田 幸子	高木 禎信	遠藤 明子	尾又 孝行	関 裕子	檜崎 喜子	大塚美千代
稲城分区(6人)	角田 政信	川島 保之	渡邊 力	池田 教秀	井上 裕由	粕谷 静男		降矢 英文

○会長:土方 三男 ○副会長:川井 博之 坂井 厚彦 井上 裕由

○監事:大須賀良子 石川ちづ子 ○専門部(会員数:70人)

	総務部 22人	研修部 16人	地活部 16人	広報部 16人
会長 副会長 " " " " 監事 " "	土方 三男 坂井 厚彦 (日野分区長兼務) 川井 博之 (多摩分区長兼務) 井上 裕由 (稲城分区長兼務) 大須賀良子 石川ちづ子		=社会参加活動担当委員= 中村マコト (日野副分区長) 高木 禎信 (多摩副分区長) 粕谷 静男 (稲城副分区長)	
センター長	持田 幸子			
会会計 " " 会書記	尾又 孝行 (財 務) 檜崎 喜子 (出納・交通費) 遠藤 明子			
部長 副部長 書記	廣澤 伸幸 渡邊 力 降矢 英文	谷 和彦 池田 教秀 伊野 直美	角田 政信 川島 保之 関 裕子	出沼恵美子 水野 京子 大塚美千代
	眞木 定義 (日野分区書記) 大野 豪祐 (日野分区会計) 北野 勝 (多摩分区書記) 佐藤 和子 (多摩分区会計) 篠崎 真悟 (稲城分区書記) 庚塚 克子 (稲城分区会計) 大坪 冬彦 (日野市長) 阿部 裕行 (多摩市長) 高橋 勝浩 (稲城市長)	曾田 洋子 三枝 玲子 荻原 豊子 篠崎 誠一 唐木 洋子 佐倉 英明 渡邊 幸子 山上 貴久 福島美由紀 山田 英二 坂野 悦子 菊地 聡 小野 智彦	福島 幹男 青木 智子 高木 伸二 須崎 勝政 津守 範学 飯島 文彦 金子 晃久 渡邊 信子 中溝 朋子 小林 靖子	土谷 縷美 松本ちづ子 松原 一郎 松浦 昇 近藤 一美 川久保和壽 熊谷 弘 加藤 晃章 伊野 傑 渡邊 聡 川崎 琢磨 山根 博史 白井友美子

○サポートセンター企画調整保護司(10人) (令和7年5月1日現在)

持田 幸子	廣澤 伸幸	出沼恵美子	眞木 定義	粕谷 静男
尾又 孝行	関 裕子	中村マコト	降矢 英文	篠崎 真悟

○社会貢献活動担当保護司(3人)

角田 政信 (地活部長)	高木 禎信 (多摩副分区長)
中村マコト (日野副分区長)	

○分 区

会 員 数	分 区 長	副分区長	書 記	会 計	会計監査
日野分区23人	坂井 厚彦	中村マコト	眞木 定義	大野 豪祐	金子 晃久
多摩分区27人	川井 博之	高木 禎信	北野 勝	佐藤 和子	津守 範学
稲城分区20人	井上 裕由	粕谷 静男	篠崎 真悟	庚塚 克子	渡邊 聡

東京保護観察所立川支部 新担当保護観察官のご挨拶

主任保護観察官 尾崎 文子
(日野・稲城分区担当)

日野分区及び稲城分区を担当しております、尾崎と申します。

日野・多摩・稲城地区の保護司の皆様方と一緒に仕事をさせていただくのは二回目です。初めてのときは、保護観察官として駆け出しの頃で、更生保護においても人生においても先輩の保護司の皆様方が、時に失礼で我が儘も言う保護観察対象者に辛抱強く付き合い、寄り添われる姿に、圧倒される思いでした。冷房のない体育館での社明行事、灼熱の中で社明パレード、朝早くの広報活動、どれもとても大変なのに、楽しいから大丈夫と仰る皆様の姿に感銘を受け、保護観察官として早く一人前にならなくてはと思いました。

それから二十年以上が過ぎ、多様化する社会の中、立ち直りを志す人に寄り添い、安心安全な地域作りに取り組まれる保護司の皆様の活動の重要性が増しています。今、ふたたび貴地区を担当できることになり、あるとき保護観察官として育てていただいたご恩返しができたらと思っています。



保護観察官 竹田 花菜
(多摩分区担当)

今年の4月から多摩分区を担当させていただきます竹田花菜と申します。

私は採用から5年間事務官として勤務し、4月に保護観察官になりました。

保護観察官として勤務するにあたって、保護観察官を目指したきっかけを思い出すと、採用説明会の際、説明された担当者から「この仕事は人のことが好きになるよ」と言われた言葉がきっかけでした。

これは、保護観察対象者の変化を見ることはもちろん、それを支える保護司の皆様をはじめとする関係する方々の熱意に感動するということも含まれると、今は思います。

そんな熱意を持った日野・多摩・稲城地区保護司会の皆さまと関わり合いながらお仕事ができることを嬉しく思います。色んなお話をさせていただき、また、ケースについても積極的に意見交換、情報共有を重ねていきたいと思っています。

至らぬ点が多々あるかと思いますが、皆さまからのご指導賜りながら、更生保護事業に励んでいく所存でございますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

3 市職員との意見交換会報告

7月25日(金)に3市との意見交換会がサポートセンター高幡台において、日野市・多摩市・稲城市の3市職員9名、保護司10名、観察所2名の合計21名出席で開催されました。

当地区保護司会土方三男会長の挨拶に続き、東京保護観察所立川支部吉原直深支部長よりご挨拶をいただきました。

参加者の自己紹介の後に、報告事項として、当地区会会計から助成金の受領及びサポートセンター事務所借料の支払いについて報告しました。総務部長からは多摩市・稲城市からのコピー用紙受領についての報告とお礼を述べました。

続いて3分区長から、第75回社会を明るくする運動について報告しました。また、センター

長からサポートセンター高幡台の利用状況及び活動の拠点としての重要性を説明しました。

協議事項に移り、保護司会からは保護観察対象者との面接場所の確保についての協力依頼をし、3市からは、保護司会活動への今後の協力について提案があり、協議がなされました。また、サポートセンターの移転に関する質疑応答が行われ、今後詰めていく事項が段々と明確になってきました。

最後に各市行政の主な取り組み事業の説明があり、当地区保護司会や東京保護観察所の現状等についての意見交換を行いました。

毎年続けている意見交換会ですが、綿密な情報共有ができ大変有意義な場となりました。

— 令和7年度 —

第75回

「社会を
明るくする運動」

～犯罪や非行を防止し、
立ち直りを支える
地域のチカラ～

活動報告



日野 分 区

6月の推進委員会を皮切りに、市役所1階でのパネル展、強化月間の7月には街頭広報活動が行われました。

日野市内の中学2年生を対象とした更生保護に関する出前授業は7月から各校の担当保護司一人ひとりの特色のある授業が行われています。

メインイベントである街頭広報活動は日野駅、高幡不動駅、豊田イオンモールの3か所で開催し、推進委員長の高賀市長は勿論、警察署長をはじめ警察の方々、各所ボランティアの皆様にも多数協力いただき、楽しく活動することができました。特に市内の中学生が3カ所総勢で50人以上参加してくださり会場を盛り上げてくれました。「また来年も参加します！」との声が聞こえるほど、短い時間の中で得るものもあったようです。イオンモールでは、道行く市民の方から「頑張ってる中学生に!!」と、沢山のお菓子の差入れをいただき、その場の全員が一気に元気づけられました。道行く人の笑顔と中学生の誠実な仕事ぶり、そして市民の方の心付けにも元気をもらえた夏の一コマでした。

この一コマを見て、犯罪を踏みとどまった人が絶対にいたはずです。

魔が差すようなことがない、悪いことがしにくい社会にするため、私たちは来年も街頭に立ちます。



多摩分 区

多摩市においては、コロナ禍以降、市内3駅（聖蹟桜ヶ丘駅、永山駅、多摩センター駅）にて更生保護女性会と共催で街頭啓発活動を行ってきました。今年度につきましては、猛暑の影響を鑑み、初めての試みとして市と共催で室内型、講演会という形式で実施しました。

講師として、東京保護観察所立川支部 吉原支部長、多摩中央警察署少年第1係 五十嵐係長に、社会を明るくする運動の主旨や再犯防止の取組についてご講義いただきました。また、遠藤保護司が出前授業の一部を実演しました。当日のアンケート結果を見ると、「3者の視点でお話を聞くことができてよかった」「自分にできることから取り組んでみたい」等、好意的なご意見をいただきました。



他にも啓発活動の一環として、たま広報への掲載やケーブルテレビ等の広報、次の事項も行いました。

- ・市内3駅に社会を明るくする運動の横断幕設置
- ・多摩市役所1階ロビーにのぼり旗、パネルの展示
- ・関戸図書館での企画展示
- ・京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンターAB館5階ブリッジギャラリーでの展示（昨年度の作文コンテスト入賞者の作文紹介、保護司会・更生保護女性会の紹介等）
- ・今年度の社会を明るくする運動作文コンテストは、647通の(たくさんの)応募がありました。
- ・市内中学校6校で中学2年生を対象に更生保護の出前授業を行いました。



稲 城 分 区

今年度の「社会を明るくする運動」は、2回の会合（運営委員会、推進委員会）を実施後、強調月間初日の7月1日午前7時から、JR矢野口駅・JR稲城長沼駅・JR南多摩駅・京王よみうりランド駅・京王稲城駅・京王若葉台駅・平尾団地バス停前（7時半から）で啓発活動を実施しました。

当日は早朝から強烈な日差しが降り注ぐ中、更生保護女性会・保護観察所・他分区からの応援保護司、自治会・民生児童委員等11の関係団体、市内6中学校の生徒、教職員の皆さん総勢300人近い人々が各会場で社明の啓発ロゴが入ったウエットティッシュを配り社会を明るくする運動への協力を呼びかけました。



又、今年度は高橋市長・杉本教育長・保護観察所吉原支部長・尾崎主任観察官他がJR南多摩駅・平尾団地バス停前に分かれ、参加された方々と一緒に啓発活動を行い充実した運動になりました。

7月11日にはジャイアンツ球場の入り口、球場内で、保護司・更生保護女性会・市職員16名で啓発活動を行いました。球場内にアナウンスが流れた後、電光掲示板に社明運動のメッセージが表示され運動のPRができました。

強調月間以外にも夏祭り他地域のイベント会場で啓発活動を行い、たくさんの人にこの活動を知ってもらい、犯罪のない明るい社会を目指したいと思います。



サポートセンター 近況報告

サポートセンター長 持田 幸子

平成21年7月に開所したサポートセンターは、開催通知等を平成22年からはFAX送信で行い、平成23年度の件数は2,824件でした。平成30年11月からはメール送信を開始し、令和元年度の件数は2,759件でしたが、直近の令和6年度の件数は6,200件と2倍を超えICT化は身近になった様子が伺われます。

4月23日には、国連アジア極東犯罪防止研修所を訪れたケニアからの研修生10人（保護観察官の立場にある方々）と通訳を含む随員7人の視察を会長・企画調整保護司で受入れました。これからケニアで日本の保護司制度のようなボランティア制度を作るためとのことで熱心さが感じられる訪問でした。



5月23日に「第1回サポートセンター運営委員会」を開催して、昨年度より課題であったセンター事務所の移転先や今後の取組みについて協議しました。

7月7日には、日野市・多摩市・稲城市3市の窓口となっている日野市の呼びかけで「3市との移転に関する打合せ会」が観察所も同席し開催されました。その席上で移転時期は、令和8年4月以降に持ち越すこと、移転費用の概算を8月中に日野市へ提出することとなり、同日、「サポートセンター移転準備会」（委員：正副会長・企画調整保護司）を発足させ、役割分担や行程等を決めました。

そして、移転の遂行に向けた準備を続けております。



桐友会 活動報告

日野・多摩・稲城地区桐友会会長 栗井 洋子



保護司を28年間で卒業しました。

これからは時間が取れると思いきや、楽しく過ごせる日々と思いきや、桐友会（日野・多摩・稲城）の会長をと前会長さんから話があり、令和7年5月15日の日野・多摩・稲城地区桐友会の総会で皆様からのオファーで引き受ける事となりました。桐友会の活動は何をしようかと思いき取りはしたものの、結局は会員は80才以上の方が多いためやれる事に限りがあります。

それで私は保護司を続けて頂いた皆さんと楽しむ事を計画をし、コミュニケーションを取りながらスローガンである「健康・和・奉仕」を基本的にして保護司の確保、犯罪予防活動等を今までの経験を生かしながら貢献していけたらと思っています。

日野・多摩・稲城地区桐友会の総会は会員多数の出席で始まり、令和7年度の保護司会からのご来賓で会長と総務部長の出席を頂きました。各議案の報告があり、無事に議案の賛成で可決終了しました。その後懇親会では懐かしい仲間との情報交換で楽しいひとときを過ごす事が出来ました。

皆さんお元気で現役時代の話で盛り上がりました。最後に一本締めで終了しました。

その後、東京桐友会理事会に出席しましたところ、副会長を仰せ付けられました。毎年行われている、会員の集いを令和7年10月23日にスクワール麹町で開催予定ですが、今年も白寿（大正15年生）5名、米寿（昭和12年生）31名の皆様に記念品の贈呈式が行われます。

皆さんお元気で現役時代の話で盛り上がりました。最後に一本締めで終了しました。

その後、東京桐友会理事会に出席しましたところ、副会長を仰せ付けられました。毎年行われている、会員の集いを令和7年10月23日にスクワール麹町で開催予定ですが、今年も白寿（大正15年生）5名、米寿（昭和12年生）31名の皆様に記念品の贈呈式が行われます。

お元気で過せる皆様に拍手を贈りたいと思います。



退任保護司ご挨拶

永い間お疲れ様でした



土谷 縷美（多摩分区）

任命：平成13年5月15日

退任：令和7年5月14日

（在任：24年）

平成23年度～24年度 多摩分区副分区長

24年間皆様とご一緒に保護司活動を続けさせて頂いたことを感謝いたしますと共に心よりお礼申し上げます。

単なる主婦であれば決して巡り逢うことはなかったであろう広範囲の人達との出逢いは貴重な体験となり保護司として実り多き日々を過ごすことが出来ました。

保護司は様々な公約等のように、綺麗事を話続けても対象者の心には通じません。罪を犯した人であっても目線を下げて心の底から語りかけることの大切さを痛感してきました。これからの保護司会に於いては、人材確保が困難な時こそ、保護司の皆様をはじめ保護司候補者検討協議会の皆様は保護司に相応しい人を見抜く力を発揮して頂きたいです。日野・多摩・稲城地区がより一層充実した保護司会になる事を期待し、皆様の益々のご活躍とご健勝をお祈りしております。お世話になりありがとうございました。



篠崎 誠一（稲城分区）

任命：平成19年9月17日

退任：令和7年9月16日

（在任：18年）

平成27年度～30年度 稲城分区長

18年を振り返りみて

保護される事が在っても保護司になるとは思わなかった、二十数名の対象者とおつきあいさせて頂き勉強させて頂いた。今では数ある思い出にしか過ぎない、各々（対象者）事情が在りおつきあいさせて頂いたが誰もがこんなはずでは無かったと思う。親が悪い、先祖が悪いとまで言ったら行き過ぎかも知れないが、武将徳川家十五代は文献にも在りますが、各々家の十代簡単に考えてみて親が二人（父・母）いなければ子は出来ない、2×2で十代かけ算すると1,024名に成る、先祖達の血、良い事、悪い事、色々な事が在ったと思う。そしてその分子が善し悪し出たのかも？と思う。私の受け持った対象者一人として悪い人はいなかったと思っています。

保護司と並行して、東京都薬物乱用指導員、稲城市社会福祉協議会の評議委員、多摩川漁協の稲城地区支部長と同時に辞める事が出来ましたが、稲城長沼駅前の区画整理審議委員と他にも2つの役が在りおつきあいさせて頂いています。元は自己責任で四十歳代のヘビースモーカーでの狭心症発症、「ステントが3個」もバイパスに入っています。病が克服出来ているのも無給料の仕事をさせて頂いたお陰と思っています。良き先輩方に有り難う、元気な後輩に頑張つてと言ひ筆を置きます。

新任保護司ご挨拶

ご活躍を期待します

令和7年5月15日委嘱

多摩分区 こいそ あきら 小磯 明（広報部）

この度、保護司を拝命いたしました小磯明でございます。

日野・多摩・稲城地区保護司会の皆様、関係機関の皆様におかれましては、日頃から多大なる御尽力を賜り衷心より感謝申し上げます。また、地区内各地で「社会を明るくする運動」に積極的に取り組みいただき、犯罪予防、再犯予防を日々全力で推進されているすべての方々に心から敬意を表します。

私も、微力ではございますが、安心・安全な街づくりを目指し、隣人、地域、郷土を愛する一市民として、犯罪・非行の未然防止とともに、立ち直りを支える地域づくりに全身全霊で取り組んでまいります。どうぞ倍旧のご指導、ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

令和7年5月15日委嘱

稲城分区 たかの りょうへい 高野 亮平（地域活動部）

令和7年度、新任の保護司になりました高野亮平と申します。

私が保護司になるきっかけは、地元の消防団をしている時の後輩2名が保護司をしており、数年前から誘いを受けておりました、保護司活動の説明を受ける中で、正直、自分には人を更生させるような自信がないので断っていました。

何度か先輩と保護司の話をして、私の事を誘ってくれた理由の共通点が「人の話を親身になって聞いてくれるからです。」と言われて保護司になるきっかけとなりました。

まだまだ不安の方が先立ちますが、これからも初心を忘れず一歩ずつ肩を張らずに始めていきたいと思っています。

皆様のご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

表紙写真の説明

— 稲城市の子ども会活動(賽の神事業) —

稲城市の子ども会活動は、市内10地区に組織された青少年育成地区委員会がそれぞれ独自に企画・立案し活動しています。

毎年成人の日に実施している賽の神事業は、学校の校庭・公園等に各地区委員会がそれぞれ企画し、今年も7か所の会場で「正月飾り」「お札」「書初め」「達磨」等を櫓に貼りつけ、消防団立ち合いの下燃やすことができました。

会場にはたくさんの地域の方々、子どもたちが参加し、地区委員会で用意した繭玉を焼いて無病息災を祈りました。

巻頭の写真は北村板金裏で実施した坂浜・長峰・若葉台地区の賽の神です。



編集後記

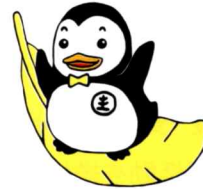
保護司活動も20年が過ぎましたが、広報部会は初めての経験です。「保護司会だより」を拝読するたびに凄いな～と感心していました。内容の検討・原稿依頼・編集とこれから経験させていただく事全てが新鮮だと思います。

部長を中心に部員の皆様と協力しながら関わって行こうと思います。読んでくださる皆様のご意見や感想が部員の励みになると考えますので宜しくお願い致します。

(M. K)

保護司 一言リレー

保護司生活について



稲城分区 川島 保之

2009年6月に、元分区長と篠崎誠一会員に來訪いただき、保護司生活が始まりました。その後、分区役員、本部役員をやらせていただきました。ここ数年間は、私の諸事情によりコロナもあり、分区活動並びに本部活動にはほとんど参加していませんでした。役員並びに会員の皆様にはご迷惑をお掛けいたしました。ただ、その間1名の方の担当は続けてきました。4月からは地活部の副として活動しています。また、この間複数の団体にて役職もいただきました。会員数が減少傾向、新しい会員の考え方の多様性を考え組織改革が必要と考えています。

今後は、残り少ない任期ですが、皆様にご迷惑をかけずに活動をしていきます。

今年度の広報部員

(部長) 出 沼 恵美子

(副部長) 水 野 京 子

(書記) 大 塚 美千代

土谷 縷美(5月退任) 松本ちづ子

松原 一郎 松浦 昇 近藤 一美

川久保和壽 熊谷 弘 加藤 晃章

伊野 傑 渡邊 聡 川崎 琢磨

山根 博史 白井友美子 小磯 明

■ サポートセンター高幡台

〒191-0042

日野市程久保550番地

電話 042-593-0950 FAX 042-506-5474

メールアドレス: vpocentormog@true.ocn.ne.jp